



HP
こ
ち
ら
か
ら
←

教育の今(改訂 生徒指導提要)

校長 戎野和幸

さて、今回は、令和4年12月に改訂された「生徒指導提要」について解説したいと思います。昨年、生徒指導提要が12年ぶりに改訂されたという報道が数多くのメディアで取り上げられました。保護者の皆さんは、「生徒指導」という言葉にどのような印象をお持ちでしょうか？身だしなみを厳しく指摘されたり、登下校時の行動を注意されたり、という生徒を厳しく指導するイメージではないでしょうか。今回の生徒指導提要では、生徒指導の定義を「児童生徒が、社会の中で自分らしく生きることができる存在へと、自発的・主体的に成長や発達する過程を支える教育活動のことである。なお、生徒指導上の課題に対応するために、必要に応じて指導や援助を行う。」と記しています。少し堅苦しい表現ですが、生徒指導提要には、学校運営のノウハウをはじめ、いじめ・非行・虐待・自殺・不登校への対応など、さまざまな課題について細かくまとめられています。

本年度、本校は、重点目標として「改訂生徒指導提要を踏まえた生徒指導の実践」を掲げています。子どもに関わる課題が複雑で多様になる中、生徒指導には教員だけでなく学校外の専門家や地域の方々とも協力して取り組む必要があります。卒業まで責任を持って見守りたいと思いますので今後ともご協力をお願いします。

文責：校長 戎野和幸

[学校名]

長崎県立壱岐商業高等学校

〒811-5533

長崎県壱岐市勝本町新城西触
282

TEL: (0920) 42-0033

県内初！高校生株式会社IKISHO登記設立完了

12/8(金)創立総会・第1回株主総会&1/29(木)第2回株主総会開催！

12月4日(月)に登記設立が完了し、県内初、全国では7番目となる、高校生株式会社が誕生しました。本校生徒全員が株主となり、会社経営に参加します。

設立の目的は、「日本一の島の専門高校」を目指して、壱岐市や地元企業・NPO団体等と連携し、地域社会と協同して教育活動に取り組み、株式会社IKISHOが持続的かつ実践的な活動を行うこと、また、壱岐全体がより活性化する仕組みを作ることです。

3年課題研究「起業体験プロジェクト」チームの生徒が総会の運営を行っています。第1回株主総会では、定款の認証と代表取締役の選任と発起人から全校生徒への株式譲渡について決議されました。第2回株主総会では、第1期の決算報告と卒業する3年生の株式譲渡が決議されました。



1年生ふるさと商人体験実習（12/10~12/15）

第1学年では令和5年12月11日(月)から12月15日(金)までの5日間の日程で壱岐市内37か所の事業所にご協力をいただき、「ふるさと商人体験学習」を実施しました。

実習中は学校とは違った真剣な表情を見せる生徒もいて、生徒たちの新たな一面を知ることができました。最初は上手くできなかったことがだんだんできるようになり、少しずつ仕事を任されるようになって、自信をつけた生徒もいたようです。また、実習のなかには、イルカショーやマグロの餌やりなど、普段なかなか体験できないようなものもあり、とても貴重な体験になりました。

地域の方々との交流で、学校では学ぶことができない体験をした生徒たちは、大きく成長できたと思います。

1学年主任 松永茂文



2年生修学旅行(12/10~12/13)

12月10日(日)～12月13日(水)の3泊4日で東京方面への修学旅行に行き参りました。

それまでの将考の時間の中で、香岐の魅力や課題、企業理念があつて、はじめて会社が起ころうということ等を学んできました。渋谷QWSで新進気鋭のスタートアップの方たちがどのように考えを深掘しているのか、何をミッションとして会社を立ち上げようとしているのかを目の前にできたことは生徒たちにとって大きな収穫だったと思います。また、東京ディズニーランドの前にはチャックスファミリーによるおもてなしについての研修を受けていたので、ただ楽しむだけでなくキャストの皆様の一挙手一投足にも注意してランドを周ることで感動を覚えたと報告してくれた生徒もいました。

本校ホームページに詳細は載せておりますが、たった4日間の間にも一回り大きく成長できたと感じています。以降の学校行事を含める教育活動全体においてもその様子は感じられるところであります。生徒自身が香岐商業に行き良かった、香岐商業を卒業できて良かったと思えるよう、職員一同しっかり指導していきたいと思ひます。今後とも本校の教育活動に対してのご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。 2学年主任 片山司朗



子どもたちの凄さを感じた校内マラソン・駅伝大会

今年度は昨年度とは異なり、校内で実施することになりました。初めてのことで不安も多々ありましたが、PTAからの野菜の提供や炊き出し、そして3年生の補助員ボランティアの支援を受けながら無事に終えることができました。本来であれば直接お礼をしなければならなかったのですが、当日にお伝えできなく、この場をお借りしてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

お子様たちは、授業を通して持久走の練習を重ねました。この期間中のご家庭では、「明日、体育嫌だ」「体育があるから学校行きたくない」などの声が飛び交っていたのではないのでしょうか。

多くのお子様は自らの心身の弱さと向き合いながらのスタートでしたが、授業回数を重ねるごとに、走る速度が上がり、頑張れる時間も増えていきました。そして、本番では、これまでの取組が良好だったことが伝わる走りを見せてくれました。さらに、他者を応援する姿も多く見られました。今大会は、1,2年生で行う初めての行事でしたが、私たち職員の想像をはるかに超える内容の行事を作り上げました。その子どもたちの姿を見ていて、頼もしさを感じることができました。

今後も日常生活を軸に、行事を通じた教育活動も大切にしながら、お子様たちと学校生活を送っていきたく思ひます。これから、学校としても体育科としても、様々な場面で協力を頂く機会があると思ひますが、PTAの方々とも協力して子どもたちの成長のサポートをしていきたいと思ひます。

体育科 山本健太

マラソン・駅伝大会の閉会式では、最後まで残っていたいただいた保護者の皆様に、2年3組篠崎晃さんが代表でお礼の挨拶をしました。

当日ご来校いただきました広報担当の保護者の皆様をはじめ、関係の皆様を、改めてお礼申し上げます。

教頭 浦田恵子

